



© 2007「オリオン座からの招待状」制作委員会

第6回 新京極映画祭

EVENT

10.20~
(Sat)

今秋、再出発な人も、順風満帆な人も、
映画が気になってしかたがない新京極へ。

「夜景ドライブ用」「湾岸クルージング用」…。携行音源がカセットテープ時代の向きには特に、何かしらオリジナルエディットの1本や2本をお持ちだろう。

「新たなステージに一步踏み出そうとする登場人物と、出発・再出発な彼らの希望や不安を描いた映画」をエディットしたのが今年の新京極映画祭である。「フラガール」「ドリームガールズ」「不都合な真実」など、最近の公開作を中心に14作。これはもう、よほど映画に詳しいか、好きでないとできないことで、

「新京極を『買う』『食べる』だけで終わらせない」という祭の本旨と使命感には頭が下がる。

映画祭のイメージソングを馬場俊英、今年の特マソングをBRIGHT（媒体露出は本誌が初！）がそれぞれ担当。

30日に上映される新作映画試写会「オリオン座からの招待状」の応募招待制の申し込みは15日消印有効なのでお急ぎを。

（竹中 聡/本誌）

■「第6回 新京極映画祭」 ■新京極シネラリーベII-MOVIX京都
■10.20(Sat)~10.26(Fri) 10.30(Tue) ■前売800円 当日(一般)1100円
■問い合わせ 075-223-2426(新京極商店街振興組合) <http://www.shinkyogoku.or.jp/>



Panorama Vision / Caravan

LIVE

10.30
(Wed)

1年3カ月ぶりのアルバムひっさげ、
喋喋ですか？ キャラヴァンですか？

SMAPの「モアイ」のコンポーザーでもあるCaravan。彼の作る曲はちょっぴり緩い目のメロディ、そしてステップワークの効いた躍るようなギターの軽快感が凄く明るいか、ポジティブで素敵だ。幼少時代を南米ペネズエラの首都カラカスで育ったということも関係あるのかもしれないが、まさにキャラヴァン感覚を持っている。それが田舎くさいフォーキィさになっていないのが、カッコイイなあと思う。

また、僕が彼の才能としてさらに凄いなあと思うのが、MPC2000XLを駆使しての、まるでアルゼンチンの音響派のようなサウンドメイキング。僕のiTuneライブラリーで隣同士に並んでいるからってわけではないけれど、ケミブラの「Marvo Ging」みたいなサウンドメイクを感じさせる。ライブはピンだそうだけれど、そんな音響的アプローチなんだらうか。（袖岡保之/本誌）

■「Panorama Vision」
■2007.10.30. (Wed)
■祝祭
■OPEN18:00 START19:00
■前売り3500円(オールスタンディング) 当日4000円
■問い合わせ 06-6882-1490(グリーンズ)

~京女・真摯のactive life~ 月刊 芸妓自身!!

「舞わざる芸妓は、食うべからず！」の巻

「芸妓」を名乗るからには、「芸」がないとあきまへん。「舞」もそのひとつ。私が所属致します「祇園甲部」では毎秋10月1日~6日頃に「温習会」という舞の会があります。この時期はお稽古が普段よりも長く、進み具合も目の回る程早いで覚えるのがゆっくりに私にとっては過酷な日々。しかし、覚えてしまえば急に楽しくなるので(笑)、挫けずにすんです。

出し物は毎年違いまして、前年が子供役、翌年にしっとりとした地唄舞…と、いろんな舞をお勉強させていただきます。今年は「鉢かつぎ姫」の次郎冠者の役、狂言師の様な衣装でひょうきんな男舞を舞います。

男舞は足を割る(外股になる)ので、お稽古中に「さっき注意されたところや」とか「次の手(振り)出てきいひん！」などあれこれ考えると、女の足さばきに戻ってまた注意されたり…、簡単にはゆきません!!

MAKOTO率いる京都発信エンターテイメントチームHP
<http://www.chimabel.com>

只今CD発売中 featuring MAKOTO
「M.O.N」first mini Album "UNKNOWN/安穩"

京の花街「舞台」の情報

- 10/1~6 祇園甲部「温習会」
- 10/17~20 先斗町「水明会」
- 10/11~14 宮川町「みず会」
- 10/7~11 上七軒「寿会」
- 11/1~10 祇園東新地「祇園おどり」

会の前には「番組&切符」というミッションがあります。ご鼠屋さんに見に来ていただくためにご案内を書いて、お茶屋さんを一軒ずつ回ります。「番組」と呼ばれる番付に半紙を巻きつけて、お茶屋さんには「〇〇御母上様」、お客様には「〇〇御旦那様」、お姉さんには「〇〇御姉上様」と左上に、中心上に「番組」下に「真摯」と筆ペンで書きます。この作業がなかなか時間がかりまして、途中で筆を持つ手が震えてきたり…(恐!!)

残暑ノ日差シニモ負ケズ、「これも修行の一種」ト心ニ言イ聞カセ、お着物で「温習会おたのもうします」と切符のお願いにまわります。役柄に合わせた髪(かつら)のサイズを測りに行く「髪合わせ」などなど、会の前にはいろいろと準備があり、なんやかんやとバタバタ致しますが、これぞ芸妓の本分。

本番、きばりますう~!!

